

第 1715 回例会報告

令和3年11月18日(木) 晴れ

会長挨拶

『日米山梅吉と

東京ロータリークラブ』

会長 小口直久

1905年(明治38年)2月23日、米国はシカゴに誕生したロータリーは、5年経って米国内16のクラブとなり、最初のロータリー大会が1910年(明治43年)8月にシカゴで開催されました。その年の11月にカナダのウィニペグにロータリークラブが誕生し、これが米国外で誕生した最初のクラブとなりました。一度ついた火は、瞬く間に全米に、そして世界各地へと広がっていき、日本に初めてロータリークラブが生まれたのは、最初のシカゴクラブの誕生から15年経った大正9年(1920年)10月20日のことでもあります。その登録番号は855番でありました。

米山梅吉は、東京ロータリークラブが設立されると、初代会長に就任しました。幹事は、ダラスに赴任した際ダラスロータリークラブに誘った福島喜三次(日本人初のロータリアン)であります。例会は、毎月第2水曜日、昼の12時30分から午後2時までで、必ずしも週1回の例会ということではなかったそうです。創立直後で、会員においてはロータリーに関心が薄く不慣れで、欠席がちであったり、会員もそうそ

うたる人達で、いくら米山梅吉に言われたからといって、とてもおいそれと言うことを聞くようなことではなかったようです。

一方では、米山自身もロータリーの内容がそれほ



どわかってはいなかったと思われ、暗中模索ということであったのかもしれませんが。それでも米山梅吉であるから空中分解することもなく、なんとか求心性を保っていたようです。

そんな時、会員に意識改革をもたらしたのが未曾有の大災害、関東大震災でありました。設立3年後の大正12年9月1日の関東大震災のニュースが世界を駆け抜けると、世界各地のロータリーから救援の手が、救援の思いが続々と寄せられました。これが世間に広くロータリーを印象づけることになりました。日本のロータリーは、大変な不幸を経て、大変革を遂げたともいえます。

震災後の第3回目の例会で、米山梅吉は、「東京クラブの例会が月1回であるのは、国際ロータリーの通念から見ると変則であるが、創立当時の事情からやむを得なかった、震災復興の困難な事業に直面した今日において、会員はロータリーの大きな目標を達成するために、更に深い友情と親睦を確立する

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこトバ
会員数	37人	5人	8,000円	信州大学、大学院生 市川雄貴(ゆたか)様をお招きしております。本日2回目の当クラブでの卓話となります。日頃の研究成果の楽しみに拝聴したいと思います。本日はよろしくお願ひいたします。 小口直久 信州大学市川さん、本日はよろしくお願ひします 宮坂英貴 本日はお忙しいところ当クラブにお越しいただきありがとうございます。市川さんのお話を楽しみにしておりました。 太田淳也 11月20日土曜日 夕刻6時から10分間上諏訪で、6時30分から60分間下諏訪で湖上の花火がうちあげられます。コロナ感染症対策をしてご鑑賞ください。本年最後の諏訪湖花火となります。 御子柴文夫
出席対象	36人	累計	218,000円	
出席者数	26人	目標額	60万円	
出席率	72.2%	達成率	36.3%	
前回修正	64.9%			



2021-2022 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「温故知新」

必要がある、これからは毎週1回例会を開くことにすべきことを提案する。」と語りました。この提案は、満場一致の賛成を得たそうです。

東京ロータリークラブ設立時では、日本初のロータリークラブの設立ということで、大変苦勞している様子が伝わってきました。米山梅吉自身も、会員になる資格に対し最低限英語が話せなければいけないとか、質を求めるとか、かなり厳しい条件を付けていたようです。それでも初代会長を2期、ガバナーを3期務めるなど、ロータリーには欠かせない存在であることは間違いないかと思えます。

ちなみに東京ロータリークラブは、昨年度100周年を迎え、現在の会員数は338名だそうです。

今回、米山梅吉記念館のホームページを参考にお話しさせていただきました。今月28日には1716回米山梅吉記念館見学例会が開催されます。2年ぶりの親睦を兼ねた例会となります。

当日は、皆さんと共に米山梅吉を身近に感じ、よりロータリーを学ぶきっかけになればと思います。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1) 12月例会予定

月日	回	内 容	担 当
2日(木)	1717	ロータリー財団について	国際奉仕
9日(木)	1718	社会福祉協議会の活動について	職業奉仕
16日(木)	1719	年次総会（次年度理事予定者）	会長・幹事
23日(木)	1720	クリスマス例会（夜間家族）	クラブ奉仕
30日()		休会	

2) 地元紙年賀広告は例年通りとします

3) 座席は12月から変わります

【連絡事項】

1716回例会の参加の最終確認をお願いします

◇委員会報告◇

【国際奉仕委員会】

本日と12月2日例会の席上で、ロータリー財団、米山奨学会の寄付金の募集をいたします。よろしくお願ひします

第1716回例会

『学術的に見た諏訪湖の現状』

信州大学総合医理工学研究科博士課程

市川雄貴 様

担当 社会奉仕委員会

市川様に2回目のご来訪をいただき諏訪湖の現状について研究成果を発表していただきました。

市川様は、下諏訪町出身で中学時代に参加した諏訪湖浄化活動が、現在の学問を選んだきっかけになっているとお聞きしました。ロータリークラブの活動も何らかの良い影響を与えたのではないかと自負しており、またうれしい限りです

研究成果の発表は、前回と打って変わって分かり易く、発表も学術的なことを平易に置き換えてお話しいただき素晴らしいものでした。背広姿も板につき、自信にあふれる姿も頼もしい限りでした

本来はその内容をウィークリーに記載することが多かったのですが、研究は現在進行形の上研究であり、機微に触れる情報もあり記載することが難しく残念でした。

ますます研鑽をつんでいただき、これからも私たちのためにお教えいただけることを心よりお願い申し上げます



例年通り市信州大学に寄付金10万円をお贈りし、卓話終了後、寄付金の目録を贈呈いたしました